

名古屋市観光客・宿泊客動向調査
（２０２０年）
概要版

令和３年１２月
名古屋市観光文化交流局

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（令和２年）概要版

1 調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査結果の概要

(1) 観光客の入込動向

【観光入込客統計に関する共通基準の採用】

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準（平成 25 年 3 月改定）」に基づき実施した。令和 2 年については、全国観光統計基準に適合する 77 地点の観光入込客数を把握した。

【観光入込客延べ人数】

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体への入込客数調査によって観光入込客延べ人数を算出した。令和 2 年の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 3,162 万人となった。

■ 観光地点の分類別入込客数の推移（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

観光地点等の分類		平成28年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
大分類	中分類					
学ぶ (見る・体験する)	自然		(1) 54,692	(1) 52,124	(1) 52,872	(1) 16,923
	文化・歴史	(26) 23,300,401	(37) 23,848,487	(40) 25,157,487	(43) 22,718,096	(32) 11,213,833
	産業観光	(6) 2,149,817	(6) 1,364,185	(6) 1,306,959	(5) 1,351,347	(5) 381,597
遊ぶ (楽しむ・リフレッシュする)	スポーツ・レクリエーション施設	(15) 13,263,867	(22) 15,897,887	(22) 15,232,108	(23) 19,898,495	(20) 8,180,852
	温泉					
	買物				(2)	
触れ合う (交流する)	行・祭事	(15) 8,592,346	(15) 6,255,906	(15) 7,803,274	(13) 5,120,679	(3) 72
	イベント	(21) 23,129,212	(22) 23,496,410	(22) 21,379,636	(21) 23,850,109	(16) 11,827,025
計		(83) 70,435,643	(103) 70,917,567	(106) 70,931,588	(108) 72,991,598	(77) 31,620,302

注：調査観光地点数は、年及び年度によって変動する。

参考：「観光入込客統計に関する共通基準（平成 25 年 3 月改定）」より抜粋

- ①非日常利用が多い（月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。
- ②観光入込客が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間 1 万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が 5 千人以上であること。

この報告書に記載のある数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合があります。

【観光入込客実人数の推計】

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点を設定し、観光入込客実人数を推計した。令和2年の観光入込客実人数は2,211万人となった。

宿泊施設調査により、宿泊客実人数を推計し、観光客調査により、居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客・日帰り客実人数を推計した。

■ 観光入込客実人数の推移

	平成28年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
観光入込客延べ人（人）	70,435,643	70,917,567	70,931,588	72,991,598	31,620,302
平均訪問観光地点数	1.49	1.50	1.50	1.46	1.43
観光入込客実人数（万人）	4,727	4,728	4,729	4,999	2,211
宿泊客実人数（万人）	639	625	677	712	365
日帰り客実人数（万人）	4,088	4,103	4,052	4,287	1,846

■ 市内・市外別宿泊客数・日帰り客数の推計

	実人数計	居住地割合		観光入込客実人数	
		名古屋市内	名古屋市外	名古屋市内	名古屋市外
観光入込客	2,211万人	48.3%	51.7%	1,068万人	1,143万人
宿泊客	365万人	0.0%	100.0%	0万人	365万人
日帰り客	1,846万人	57.9%	42.1%	1,068万人	778万人

【観光消費額の推計】

観光客調査により、観光入込客の名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計した。令和2年の名古屋市内の観光総消費額は2,089億円となった。

■ 宿泊・日帰り別観光総消費額の推移

		平成28年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
宿泊客一人あたりの消費額		24,530円	25,498円	29,296円	31,304円	28,594円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内	2,905円	3,090円	2,842円	3,088円	4,175円
	名古屋市外	6,211円	6,558円	6,795円	6,400円	7,701円
宿泊客総消費額		1,567億円	1,595億円	1,983億円	2,229億円	1,044億円
日帰り客総消費額	名古屋市内	496億円	560億円	561億円	657億円	446億円
	名古屋市外	1,478億円	1,501億円	1,414億円	1,383億円	599億円
名古屋市内観光総消費額		3,541億円	3,656億円	3,958億円	4,268億円	2,089億円

■ 観光消費額の推移

	平成28年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
食事費消費額	1,082億円	1,082億円	1,162億円	1,341億円	540億円
交通費消費額	435億円	418億円	421億円	517億円	281億円
土産費消費額	773億円	741億円	748億円	802億円	348億円
宿泊費消費額	523億円	604億円	805億円	794億円	378億円
入場料消費額	345億円	364億円	373億円	431億円	250億円
その他消費額	383億円	384億円	449億円	383億円	293億円
観光総消費額	3,541億円	3,656億円	3,958億円	4,268億円	2,089億円

■ 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外在住
食事費	6,909円	1,102円	2,180円
交通費	2,828円	570円	1,496円
土産費	4,436円	559円	1,630円
宿泊費	10,354円		
入場料	1,957円	989円	932円
その他	2,110円	955円	1,463円
合 計	28,594円	4,175円	7,701円

■ 主な旅行費用項目別消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外在住	
食事費消費額	252億円	118億円	170億円	540億円
交通費消費額	103億円	61億円	116億円	281億円
土産費消費額	162億円	60億円	127億円	348億円
宿泊費消費額	378億円			378億円
入場料消費額	71億円	106億円	73億円	250億円
その他消費額	77億円	102億円	114億円	293億円
観光総消費額	1,044億円	446億円	599億円	2,089億円

(2) 観光地点入込客の実態

名古屋駅、栄エリア（オアシス 21、観光案内所）をはじめとする 9 観光エリアにおいて、令和 2 年 11 月 20 日（金）、11 月 21 日（土）、11 月 22 日（日）、11 月 25 日（水）の 4 日間、調査員が対面聞き取りにより調査した（合計 1,889 サンプル）。

■ 調査観光地点とサンプル数

	名古屋駅	栄 2 1、 栄 エ リ ア （ オ ア シ ス 観 光 案 内 所 ）	名 城 エ リ ア （ 金 シ ヤ チ 横 丁 含 む ）	金 城 ふ 頭 エ リ ア	名 古 屋 港 水 族 館	大 須 商 店 街	東 山 動 植 物 園	熱 田 神 宮	名 古 屋 市 科 学 館	合 計
サンプル数	199	207	209	210	210	210	210	205	229	1,889

【観光地点別入込客の特性】

居住地をみると、ほとんどの観光地点で名古屋市内の割合が最も多い中、「名古屋駅」では関東からの訪問が多くなっている。

年代別にみると、「金城ふ頭エリア」や「東山動植物園」では 30 代の訪問率が高く、「名古屋港水族館」や「名古屋市科学館」では 20 代、30 代、「大須商店街」は 20 代の割合が高い。「熱田神宮」では 40 代、「栄エリア」では 50 代～70 代、「名古屋駅」では 60 代、「名城エリア」では 70 代の訪問率が高くなっている。

（本編参照）

■ 入込客の居住地構成

				(単位：%)						
東海	名古屋 市	愛知 県 （ 名 古 屋 市 を 除 く ）	岐阜 県 ・ 三 重 県 ・ 静 岡 県	関 東	近 畿	北 陸 ・ 甲 信 越	北 海 道 ・ 東 北	中 国 ・ 四 国	九 州 ・ 沖 縄	そ の 他
75.5	48.3	19.7	7.5	11.9	8.6	1.1	0.4	1.1	1.4	0.0

【観光入込客の遊覧状況】

一人あたりの訪問施設数は 1.43 施設である。

観光地点相互でみると、「熱田神宮」と「名古屋城」の来訪者では相互に訪れる割合が高い他、「金城ふ頭エリア」では、「レゴランド®・ジャパン」、「リニア・鉄道館」が近距離にあることでセットで訪れる割合が高くなっている。

■ 主な観光施設入込客の遊覧状況

(単位：%)

訪問施設	名古屋城	トヨタ産業技術記念館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	名古屋テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋市科学館	レゴランド・ジャパン	リニア・鉄道館	平均訪問施設数(施設)
調査エリア														
名古屋駅	37.7	3.5	12.1	14.1	2.5	1.5	1.0	8.5	1.5	0.0	0.5	1.5	2.5	1.67
栄エリア (オアシス21 観光案内所)	4.3	0.5	1.4	1.0	1.4	1.0	0.0	11.6	0.0	11.6	0.0	0.5	1.0	1.39
名城エリア (金シャチ横丁含む)	100.0	3.3	5.7	18.2	1.0	7.2	1.9	15.8	0.0	1.4	4.3	0.0	0.0	1.88
金城ふ頭エリア	2.9	0.0	0.0	3.8	0.0	1.9	0.0	6.2	0.0	0.0	0.0	63.3	50.0	1.35
名古屋港水族館	7.1	1.4	1.0	4.8	0.5	4.3	0.0	2.4	0.0	0.0	3.3	2.4	1.4	1.44
大須商店街	5.7	0.5	1.0	2.4	0.0	1.0	0.0	1.4	0.0	0.5	2.4	0.0	0.0	1.12
東山動植物園	1.0	0.5	1.0	1.4	0.0	99.5	4.3	1.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.5	1.23
熱田神宮	17.1	1.0	4.4	98.0	4.4	0.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.5	0.0	1.0	1.43
名古屋市科学館	7.4	1.3	1.3	3.9	0.0	2.2	0.4	2.2	0.0	0.0	97.8	1.3	0.0	1.40

その他施設については本編参照

※複数回答

【観光入込客の旅行費用】

今回の旅行費用の平均額は、交通費 1,346 円、土産代 1,688 円、食事代 2,614 円、入場料 1,172 円である。また、宿泊者の 1 泊の宿泊代は 10,354 円となっている。

■ 主な観光施設入込客の市内での消費額

	交通費	土産代	食事代	宿泊代	入場料	その他の費用
平均額 (円)	1,346	1,688	2,614	10,354	1,172	1,342

【名古屋の印象・旅行の満足度】

名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度は、全体で「大変満足」（30.1％）と「ほぼ満足」（50.7％）を合わせた 80.8％が満足と評価している。

■ 入込客の名古屋の印象・旅行の満足度

（単位：％）

印象・満足度		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
地点・地域・性別・年齢						
観光地点	名古屋駅	24.8	56.1	17.8	1.3	0.0
	栄エリア（オアシス21 観光案内所）	26.7	45.0	28.3	0.0	0.0
	名城エリア（金シャチ横丁含む）	24.2	62.5	13.3	0.0	0.0
	金城ふ頭エリア	18.6	73.3	7.0	1.2	0.0
	名古屋港水族館	41.3	38.9	17.5	1.6	0.8
	大須商店街	41.3	37.0	20.7	1.1	0.0
	東山動植物園	35.6	36.7	27.8	0.0	0.0
	熱田神宮	34.7	50.0	15.3	0.0	0.0
	名古屋市科学館	24.8	53.0	19.7	2.6	0.0
地域	東海	28.3	50.6	19.5	1.4	0.2
	愛知県（名古屋市を除く）	26.6	50.0	21.4	1.6	0.3
	岐阜県	32.3	50.8	16.9	0.0	0.0
	三重県	27.1	60.4	10.4	2.1	0.0
	静岡県	44.0	40.0	16.0	0.0	0.0
	関東	30.3	53.1	16.6	0.0	0.0
	近畿	36.7	45.6	16.5	1.3	0.0
	北陸・甲信越	35.0	45.0	20.0	0.0	0.0
	その他	50.0	12.7	30.0	7.3	0.0
性別	男性	28.5	50.1	20.0	1.1	0.2
	女性	31.6	51.4	16.2	0.8	0.0
年齢	10～19歳	50.0	42.9	7.1	0.0	0.0
	20～29歳	40.0	44.2	14.7	1.1	0.0
	30～39歳	29.1	54.6	15.3	1.0	0.0
	40～49歳	24.9	53.5	20.0	1.6	0.0
	50～59歳	27.0	43.7	27.8	0.8	0.8
	60～69歳	23.2	59.2	17.6	0.0	0.0
	70～79歳	28.4	52.2	17.9	1.5	0.0
	80歳以上	11.1	66.7	22.2	0.0	0.0
全 体		30.1	50.7	18.1	1.0	0.1

(3) 宿泊施設の状況

市内宿泊施設に調査票を配布し、施設の概要ならびに宿泊者数などを把握した。市内の総宿泊者数は、回答施設の実績から未回答分を推計し算出した。

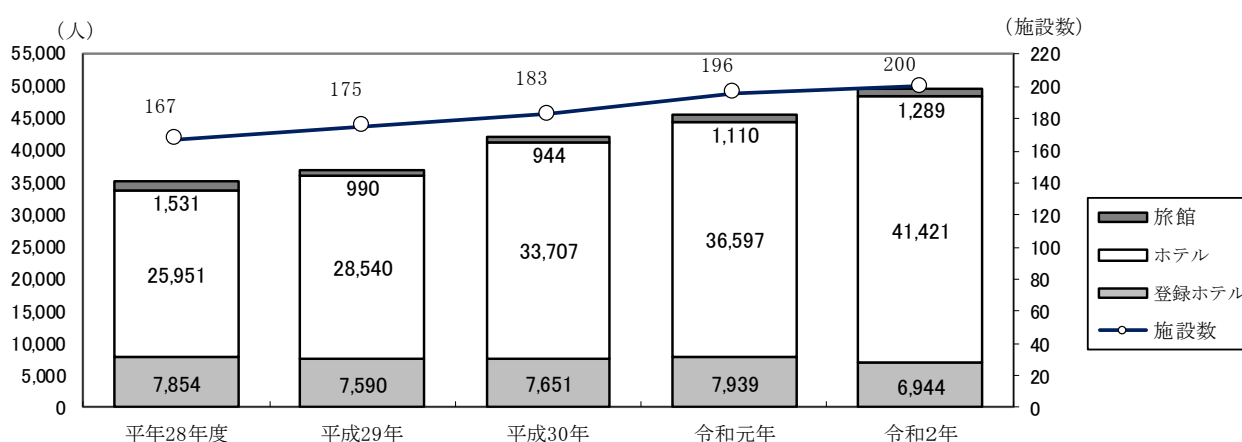
【宿泊施設数】

施設数では、登録ホテルが13施設、登録ホテルを除くホテルは161施設、旅館は26施設。また、室数の合計は30,600室、収容人数の合計は49,654人で、昨年より合計施設数では4施設、部屋数は482室、収容人数は4,008人の増加となった。

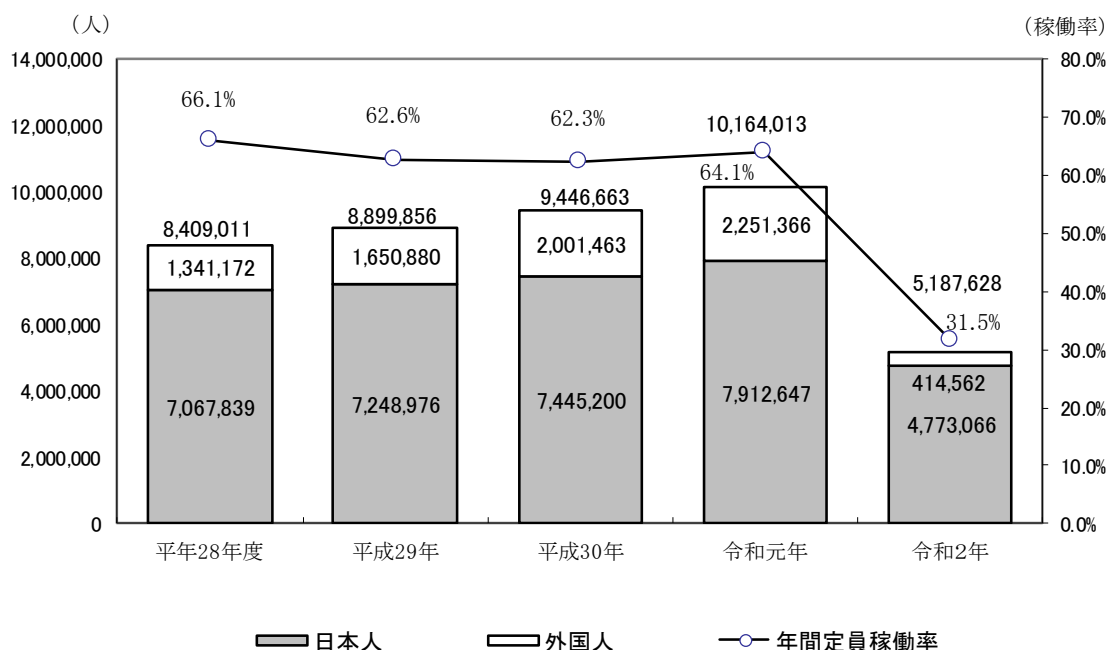
【年間宿泊者数】

令和2年の全施設の年間総延べ宿泊者数は約519万人泊であった。また、全施設の年間総実人数は約365万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約1.42日と推計される。

■ 市内宿泊施設収容人数及び施設数の推移



■ 施設延べ宿泊者数の推移



■ 推計年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移

	平成28年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
推計総実人数（人）	6,387,048	6,247,166	6,765,087	7,118,240	3,647,057
うち外国人	893,487	1,115,713	1,284,032	1,347,440	226,685
推計延宿泊者数（人）	8,409,011	8,899,856	9,446,663	10,164,013	5,187,628
うち外国人	1,341,172	1,650,880	2,001,463	2,251,366	414,562
年間定員稼働率（％）	66.1%	62.6%	62.3%	64.1%	31.5%

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。

年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数

【国・地域別外国人宿泊者数】

国・地域別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は95施設であった。

国・地域別では、「中国」が全体の42.12%と最も多く、施設分類別にみても、すべてのタイプの施設で中国の宿泊者が最も多くなっている。次いで台湾（19.28%）、香港（13.09%）とつく。

■ 国・地域別外国人宿泊者数

	令和2年						令和元年
	登録ホテル	ホテル	旅館	全体			全体 割合（％）
				回答人数 （人）	推計人数 （人）	割合 （％）	
回答数（施設数）	6	75	14	95			
中国	5,527	44,473	24	50,024	95,489	42.1%	42.5%
台湾	1,394	21,495	5	22,894	43,701	19.3%	18.6%
香港	1,158	14,390	1	15,549	29,681	13.1%	10.7%
タイ	481	10,257	0	10,738	20,497	9.0%	10.2%
韓国	371	6,002	14	6,387	12,192	5.4%	7.0%
米国	451	2,054	2	2,507	4,786	2.1%	2.3%
シンガポール	191	1,805	2	1,998	3,814	1.7%	1.7%
オーストラリア	150	1,423	4	1,577	3,010	1.3%	1.1%
インドネシア	157	1,160	0	1,317	2,514	1.1%	0.9%
マレーシア	256	904	0	1,160	2,214	1.0%	0.9%
英国	109	745	0	854	1,630	0.7%	0.8%
ベトナム	28	632	16	676	1,290	0.6%	1.2%
ドイツ	99	477	1	577	1,101	0.5%	0.6%
フランス	43	378	0	421	804	0.4%	0.5%
フィリピン	0	324	0	324	618	0.3%	0.1%
カナダ	35	46	0	81	155	0.1%	0.1%
カンボジア	0	54	1	55	105	0.0%	0.0%
ロシア	17	28	2	47	90	0.0%	0.0%
イスラエル	0	39	0	39	74	0.0%	0.1%
イタリア	3	32	0	35	67	0.0%	0.0%
インド	0	31	0	31	59	0.0%	0.0%
ノルウェー	0	8	0	8	15	0.0%	0.0%
ニュージーランド	0	6	0	6	11	0.0%	0.0%
スペイン	0	5	0	5	10	0.0%	0.0%
ベルギー	0	4	0	4	8	0.0%	0.0%
メキシコ	0	3	0	3	6	0.0%	0.0%
ポルトガル	0	3	0	3	6	0.0%	0.0%
その他	57	1,370	7	1,434	2,737	1.2%	0.7%
合計	10,527	108,148	79	118,754	226,685	100.0%	100.0%

【修学旅行について】

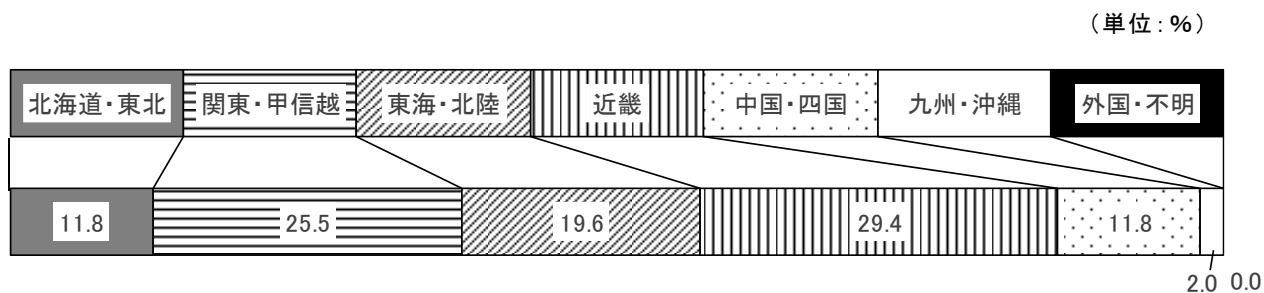
修学旅行を受け入れた宿泊施設は 11 施設で、学校数は 51 校、宿泊者数は 3,467 人であった。昨年に比べ学校数は 59 校、宿泊者数は 785 人減少している。

学校分類別では「小学校」が 14 校、「中学校」が 6 校、「高校」が 23 校、「その他」が 8 校となっている。（本編参照）

■ 修学旅行団体の受入実績の推移

	平成28年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
学校数（校）	113	98	80	110	51
宿泊者数（人）	5,506	4,576	4,631	4,252	3,467

■ 地域別修学旅行団体入状況



(4) 全国から見た名古屋の観光に関する評価

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、名古屋市を除く全国の18～79歳の男女個人を対象に、令和3年1月にインターネットを用いてアンケートを実施した（1,000サンプル）。

【観光資源について】

名古屋の主要な観光資源については、認知度、訪問・体験割合はともに「名古屋城」がトップで、訪問・体験意向は「なごやめし」と「名古屋城」が高い。

■ 名古屋の主要観光資源について

(単位：%)

	名古屋城	金シャチ横丁	徳川美術館	熱田神宮	四間道	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋科学館 (プラネタリウムなど)	白鳥庭園	名古屋港 (名古屋港水族館、シー トレインランド、ポートビルな ど)	東山動植物園	栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公 園(レイヤードヒサヤオオドリ パーク)、オアシス21など)
認知度	87.0	20.8	16.5	47.5	2.4	21.1	22.2	15.3	17.7	4.3	27.4	38.7	38.4
体験	50.6	11.8	6.2	27.9	2.4	10.0	9.4	6.5	11.2	1.8	22.1	18.5	35.0
訪問意向	42.9	20.4	18.2	27.7	2.6	17.0	15.8	12.4	13.4	7.0	16.8	21.7	17.6

	大須 (大須観音・大須商店街)	文化のみち(二葉館など)	有松・日本遺産(町並み、 有松、鳴海絞会館など)	桶狭間(桶狭間の戦いゆか りの地)	秀吉・清正記念館	レゴランド®・ジャパン	なごやめし(味噌煮込み、 ひつまぶし、きしめん、味 噌カツ、手羽先など)	名古屋まつり	につぼんど真ん中祭り	世界コスプレサミット	名古屋おもてなし武将隊	その他	知っているものはない
認知度	22.9	0.7	4.6	16.5	2.0	38.3	50.1	6.8	7.8	4.4	10.5	0.5	8.3
体験	23.8	0.6	2.4	2.9	0.6	5.6	35.6	2.6	2.6	1.5	2.6	1.2	16.8
訪問意向	10.6	4.7	8.1	13.1	11.4	18.5	43.0	8.1	3.3	4.9	4.7	0.9	6.5

【名古屋の観光地としての魅力について】

名古屋の観光地としての「魅力を感じる」は 49.9%と半数を占め、「魅力を感じない」は 14.2%と 1 割程度である。また「どちらともいえない」が 4 割弱となっている。

■名古屋の観光地としての魅力

(単位：%)

	魅力を感じる	魅力を感じない	どちらともいえない
全体 N=1,000	49.9	14.2	35.9

■名古屋に観光地としての魅力を感じない理由

(単位：%)

	希薄であること	他の観光都市と比べて観光イメージが低いこと	名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	魅力ある観光施設が少ないこと	魅力あるイベントが少ないこと	魅力あるおみやげ品が少ないこと	交通アクセスが良くないこと	夜に楽しめる場所が少ないこと (観光施設の閉館時間が早いことなど)	観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	まちがきれいでないこと	まちに緑が少ないこと	その他
全体 N=142	50.0	14.1	8.5	46.5	7.7	9.2	12.7	3.5	7.0	7.7	4.2	8.5	

【観光振興について】

平成 19 年 7 月から主要観光施設等を周遊している観光ルートバス「メーグル」の認知度は、今回 8.5%となり、利用意向は 53.0%となった。(本編参照)

(5) 主要観光施設の入込客数

■ 主要観光施設別入込客数の推移

(単位:人)

施設 \ 年度・年	平成28年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
名古屋城	1,919,479	1,830,404	2,175,483	2,205,544	648,089
東山動植物園	2,408,400	2,512,291	2,521,652	2,514,391	1,343,593
東山スカイタワー	284,399	287,025	272,771	273,380	108,175
名古屋テレビ塔 注1	299,953	297,436	316,524	10,307	58,745
熱田神宮	7,006,452	7,090,427	7,106,742	7,405,049	5,642,933
名古屋港	416,427	470,531	461,433	465,043	177,173
名古屋市科学館	1,379,293	1,277,909	1,362,519	1,335,840	478,336
徳川美術館	231,155	222,958	217,797	232,429	71,069
名古屋市博物館	451,666	447,718	451,453	523,006	164,308
東谷山フルーツパーク	480,833	428,631	418,892	503,145	376,754
農業文化園・戸田川緑地	1,156,780	1,075,147	1,074,356	1,062,155	792,907
でんきの科学館	243,722	279,932	308,754	339,828	53,700
名古屋市美術館	314,351	185,339	682,826	349,676	1,273
名古屋港水族館	1,967,486	2,195,051	2,089,865	2,195,713	937,529
トヨタ産業技術記念館	430,956	460,098	425,972	459,353	95,604
白鳥庭園	159,153	151,919	145,698	165,877	98,156
市政資料館	78,375	80,143	100,402	108,023	45,844
名古屋能楽堂	174,398	174,756	184,198	157,513	57,475
愛知県美術館	885,115	1,169,140	30,016	683,200	328,086
名古屋市農業センター	663,849	643,564	570,633	554,046	375,073
有松・鳴海絞会館	169,389	179,917	164,747	164,787	107,173
久屋大通庭園(フラリエ)	632,356	625,073	554,956	579,101	366,363
名古屋ボストン美術館 注2	196,006	125,619	194,100	-	-
リタケの森	329,167	313,551	333,713	327,871	113,992
ブルーボネット 注3	52,147	52,611	47,903	45,129	25,017
徳川園	320,335	300,498	328,011	352,563	168,615
文化のみち二葉館	34,085	32,174	31,253	33,750	11,171
スカイプロムナード	91,598	83,906	83,065	94,904	46,944
リニア・鉄道館	463,378	447,249	409,056	440,982	145,975
パロマ瑞穂スポーツパーク	-	1,449,293	1,332,061	1,474,347	554,655
ナゴヤドーム	-	3,954,618	4,382,529	5,179,563	1,093,807
主要観光施設の入込客数合計	23,240,703	28,844,928	28,779,380	30,236,515	14,488,534

注1：名古屋テレビ塔は改修工事の為、8月まで休館。

注2：名古屋ボストン美術館は平成30年に閉館

注3：ブルーボネットは12月26日から翌2月末日まで冬季休園。



名古屋市観光客・宿泊客動向調査概要版

(2020年)

令和3年12月発行

発行 名古屋市観光文化交流局

業務委託先 合同会社 STK